

- 県外からの新規参入により、休耕田を活用して“**環境に配慮した野菜づくり**”を実践！
- 「六次産業化・地産地消費」に基づく計画認定を受け、**菓子工房を備えた直売所**を開店！

地域の概要

石榑地区は、いなべ市南部に位置し、鈴鹿山脈（石榑峠）のふもとに広がる水田農業地域である。主要な農産物は米で、近年では、水田での野菜栽培も増加している。

また、山麓地域の気候・風土を生かして古くから茶が栽培され、「石榑茶」として地域に親しまれている。



鈴鹿山脈の麓で、1.8haの休耕田を借りて、化学農薬を用いずに野菜を栽培。

取組の背景

大阪出身の女性社長が、愛知県での洋菓子店経営の経験を生かし、農薬を使わない野菜づくりをめざして、平成24年4月に農業生産法人を設立した。

平成28年には、子どもの野菜離れに歯止めをかけたいとの思いから、地域の直売所を改装して加工・直売所をオープン、自社生産の野菜を使った「かぼちゃプリン」などの洋菓子や野菜などを販売している。

取組のポイント

ポイント1 野菜栽培を軌道に乗せるため、若い専門のスタッフを雇用

- ・ 露地野菜栽培をゼロからスタートさせるため、農業の専門知識・技術を有するスタッフの育成に注力した。現在、若い専門スタッフが農場チーフとして定着している。
- ・ 野菜栽培を軌道に乗せるため、有機資材を用いた土づくりや、防虫ネットの使用など、環境にやさしい農業技術の導入を進めている。

ポイント2 6次産業化により自社の野菜を使った加工品を開発・販売

- ・ 野菜を使った洋菓子づくりをめざして、平成25年10月に、「六次産業化・地産地消費」に基づき国から事業計画の認定を受けている。
- ・ 地域の直売所の活性化を図るため、直売所の一部を加工販売所にリニューアルし、野菜を使った洋菓子を販売している。



ポイント3 女性スタッフが活躍

- ・ 洋菓子店経営の実績のある女性社長のアイデアで、自社の野菜を用いた多様な商品の開発にチャレンジしている。
- ・ 加工所での調理や販売、畑での収穫・出荷などに、女性社長とともに4名の女性スタッフが活躍している。

今後の展望

持続的な野菜生産に取り組む農場として、GAP認証をめざしていく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県桑名農政事務所農政室地域農政課
電話 0594-24-7421